



Roca's Candle Class

チェックリスト

BASIC、MASTERを終えられて認定校に登録（ディプロマ申請）していただいたのち、生徒さまを募集される前に下記の項目が自信を持って教えられるレベルにあるか確認するためのチェックリストを作成しました。認定校のレベル統一をはかるため、1つでも不安面がある場合は自信を持って教えられるようになるまで復習をお願い致します。

※講師用テキストを見直しても綺麗なキャンドルが作れない。といった場合はお気軽に認定講師または本校 (rocacandle@gmail.com) までご相談下さい。

- ・ BASICの1項目めのグラデーション（白～好きな色）に気泡やスジが入っていないこと
- ・ パームキャンドルの模様が必ず確認できること
- ・ SORAにスジが入っていないこと（型が冷えている、注ロウ温度が低いとスジが入ります。
気泡は多少はいてもOKですが、雲が柔らかい内にブルーを注ぐと気泡の原因となります）
- ・ ボタニカルキャンドルの押し花が綺麗に配置できること（重ね方を理解しデザインしないと、重なり部分に蠟が入り込み重なった後ろのお花がくっきり見えなくなる原因となります）
- ・ ボタニカルキャンドルに内側からの気泡が入っていないこと（カラーブロックを入れた後の埋め戻しのタイミングが早いと気泡の原因となります。常温でかためること）
- ・ マイクロソフトのシーティングの厚みの意味を理解し、どのような型でも同じ厚みにできること
- ・ DOTキャンドルにスジや気泡が入らないよう冷やし方をマスターしていること
- ・ ゴールドイニシャルキャンドルのゴールド部分が綺麗に仕上げられていること
（マスキングテープを剥がすタイミングも含む）
- ・ ウォーターカラーキャンドルで、①白を多用②表面をきれいにするための指圧③上下の接着
④コーティング 以上が教えられるレベルまで復習できていること
- ・ ロゼットの形成が綺麗にできること
- ・ リボンの形成が綺麗にでき、生徒によって配合をかえることができること
- ・ ギフトボックス等のディッピング全般が綺麗にできるようになっていること
- ・ お花の形成が綺麗にでき、生徒によって配合をかえることができること
- ・ フラワーバスケットの組み立てを立体的にデザインできること
- ・ ドリップキャンドルの上部をツルツル（気泡なし）に仕上げることができること

テキストを使用しレッスンで一度は制作していると思いますが、一度作るだけでは教えられるレベルにまで達していないと思います。綺麗な仕上がりにするために講師用テキストを制作していますが、何度も復習していただき、「ここは分かりにくい、もっとこうした方が良い」など気づきがあった場合にはぜひご連絡下さい。講師用テキストは都度改訂します。